# Cisco Host Upgrade Utility 2.0(4) ユーザ ガイド

**初版**：2015 年 05 月 14 日

**シスコシステムズ合同会社**
〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー
http://www.cisco.com/jp
お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター
0120-092-255 （フリーコール、携帯・PHS含む）
電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00
http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/

【注意】シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（**www.cisco.com/jp/go/safety_warning/**）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。 このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。 このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。 添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

シスコが採用している TCP ヘッダー圧縮機能は、UNIX オペレーティング システムの UCB（University of California, Berkeley）のパブリック ドメイン バージョンとして、UCB が開発したプログラムを採用したものです。 All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。 シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。 マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワーク トポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。 説明の中に実際のアドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: http://www.cisco.com/go/trademarks. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1110R)

© 2015 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

# 目 次


はじめに v

対象読者 v

表記法 v

Cisco UCS の関連ドキュメント vii

**Cisco Host Upgrade Utility の概要 1**

Cisco Host Upgrade Utility について 1

ライセンス契約書 5

HUU ユーザ インターフェイスについて 6

**要件およびサポート 9**

要件 9

サポート 11

**Cisco UCS C シリーズ サーバのファームウェアの更新 13**

HUU を使用した Cisco UCS C シリーズ サーバのファームウェアの更新 13

**トラブルシューティング 17**

トラブルシューティング 17

# はじめに


- 対象読者，v ページ
- 表記法，v ページ
- Cisco UCS の関連ドキュメント，vii ページ


## 対象読者

このガイドは、次の 1 つ以上に責任を持ち、専門知識を備えたデータセンター管理者を主な対象にしています。

- サーバ管理
- ストレージ管理
- ネットワーク管理
- ネットワーク セキュリティ

## 表記法

| テキストのタイプ | 用途 |
|---|---|
| GUI 要素 | タブの見出し、領域名、フィールドのラベルのようなGUI要素は、[GUI要素] のように示しています。<br>ウィンドウ、ダイアログボックス、ウィザードのタイトルのようなメイン タイトルは、**[メイン タイトル]** のように示しています。 |
| マニュアルのタイトル | マニュアルのタイトルは、イタリック体（*italic*）で示しています。 |
| TUI 要素 | テキストベースのユーザ インターフェイスでは、システムによって表示されるテキストは、`courier` フォントで示しています。 |

| テキストのタイプ | 用途 |
|---|---|
| システム出力 | システムが表示するターミナル セッションおよび情報は、courier フォントで示しています。 |
| CLI コマンド | CLI コマンドのキーワードは、ボールド体（**bold**）で示しています。<br>CLI コマンド内の変数は、イタリック体（*italic*）で示しています。 |
| [ ] | 角カッコの中の要素は、省略可能です。 |
| {x \| y \| z} | 必ずいずれか1つを選択しなければならない必須キーワードは、波カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。 |
| [x \| y \| z] | どれか1つを選択できる省略可能なキーワードは、角カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。 |
| string | 引用符を付けない一組の文字。 string の前後には引用符を使用しません。引用符を使用すると、その引用符も含めて string とみなされます。 |
| < > | パスワードのように出力されない文字は、山カッコで囲んで示しています。 |
| [ ] | システム プロンプトに対するデフォルトの応答は、角カッコで囲んで示しています。 |
| !、# | コードの先頭に感嘆符（!）またはポンド記号（#）がある場合には、コメント行であることを示します。 |

（注） 「注釈」です。 役立つ情報や、このドキュメント以外の参照資料などを紹介しています。

ヒント 「問題解決に役立つ情報」です。 ヒントには、トラブルシューティングや操作方法ではなく、ワンポイントアドバイスと同様に知っておくと役立つ情報が記述される場合もあります。

注意 「要注意」の意味です。 機器の損傷またはデータ損失を予防するための注意事項が記述されています。

ワンポイント アドバイス 時間を節約する方法です。 ここに紹介している方法で作業を行うと、時間を短縮できます。

警告　安全上の重要事項

「危険」の意味です。 人身事故を予防するための注意事項が記述されています。 機器の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止対策に留意してください。 各警告の最後に記載されているステートメント番号を基に、装置に付属の安全についての警告を参照してください。

これらの注意事項を保管しておいてください。

# Cisco UCS の関連ドキュメント

### ドキュメント ロードマップ

すべての B シリーズ マニュアルの一覧については、http://www.cisco.com/go/unifiedcomputing/b-series-doc で入手できる『*Cisco UCS B-Series Servers Documentation Roadmap*』を参照してください。

すべての C シリーズ マニュアルの一覧については、http://www.cisco.com/go/unifiedcomputing/c-series-doc で入手できる『*Cisco UCS C-Series Servers Documentation Roadmap*』を参照してください。

管理用の UCS Manager と統合されたラック サーバでサポートされるファームウェア バージョンとサポートされる UCS Manager バージョンについては、『Release Bundle Contents for Cisco UCS Software』を参照してください。

### その他のマニュアル リソース

ドキュメントの更新通知を受け取るには、Cisco UCS Docs on Twitter をフォローしてください。

第 1 章

# Cisco Host Upgrade Utility の概要

この章は、次の内容で構成されています。


- Cisco Host Upgrade Utility について，1 ページ
- ライセンス契約書，5 ページ
- HUU ユーザ インターフェイスについて，6 ページ


## Cisco Host Upgrade Utility について

Cisco Host Upgrade Utility（これ以降は HUU と呼ばれます）は、Cisco UCS C シリーズ サーバ上でファームウェアをアップグレードするツールです。 HUU には、Windows オペレーティング システム上の選択されたプラットフォーム用のコンテナをダウンロードできるオプションがあります。物理メディアに ISO を書き込むことで HUU ISO からコンテナをダウンロードできます。 サーバに物理メディアを挿入すると、オートランによりブラウザで Index.html ページが表示されます。この index.html ページでは、コンテナをダウンロードできる場所にアクセスできます。 また、標準的な ISO 抽出ユーティリティを使用して ISO からコンテナをダウンロードすることもできます。

HUU のユーザ インターフェイスでは、アップグレードが必要なファームウェア コンポーネントを選択できます。 以前のリリース（1.4(x)）では、HUU によりコンポーネントを選択しアップグレードを開始できるテキスト メニューが提供されていました。 バージョン 1.5(x) 以降では、HUU によりアップグレードを実行するためのグラフィカルユーザインターフェイスが提供されます。

HUU を使用して、次のコンポーネント上のファームウェアをアップグレードできます。

- Cisco Integrated Management Controller（Cisco IMC）
- システム BIOS
- シャーシ管理コントローラ（CMC）
- LAN On Motherboard（LOM）
  - Intel Ethernet i350 PCI Server Adapter

- Intel X540 デュアル ポート LOM
- Intel I350 mLOM

- Cisco VIC ネットワーク コントローラ アダプタ
  - Cisco アダプタ UCS VIC 1225
  - Cisco アダプタ UCS VIC 1225T
  - Cisco アダプタ UCS VIC 1285
  - Cisco アダプタ UCS VIC 1227
  - Cisco アダプタ UCS VIC 1227T
  - Cisco アダプタ UCS VIC 1385

- Broadcom PCI アダプタ
  - 5709 デュアルおよびクアッド ポート アダプタ
  - 57712 デュアル ポート アダプタ SFP+
  - 57712 デュアル ポート アダプタ 10GBaseT
  - 57810 デュアル ポート

- Intel PCI アダプタ
  - i350 クアッド ポート アダプタ
  - X520 デュアル ポート アダプタ
  - X540 デュアル ポート アダプタ

- QLogic PCI アダプタ
  - 2462 デュアル ポート アダプタ
  - 2562 デュアル ポート アダプタ
  - 2672 デュアル ポート アダプタ
  - 8242 デュアル ポート 10 Gbps アダプタ
  - 8362 デュアル ポート アダプタ

- Emulex PCI アダプタ
  - LightPulse LPe11002 アダプタ
  - LightPulse LPe12002 アダプタ
  - LightPulse LPe16002 アダプタ
  - OneConnect® OCe11102 デュアル ポート アダプタ

- OneConnect® OCe14102 デュアル ポート アダプタ

- LSI
  - Cisco UCSC RAID SAS 12G SAS モジュラ RAID コントローラ
  - C460 M4 用Cisco UCSC RAID SAS 12G SAS モジュラ RAID コントローラ
  - UCS C3X60 12G SAS パススルー コントローラ
  - UCS C3X60 ストレージ サーバ用 Cisco RAID コントローラ
  - Cisco UCSC RAID SAS 2008M□8i
  - LSI MegaRAID SAS 9220-4i
  - LSI MegaRAID SAS 9220-8i
  - LSI MegaRAID SAS 9240-8i
  - LSI MegaRAID SAS 9265CV-8i
  - LSI MegaRAID SAS 9270CV-8i
  - LSI MegaRAID SAS 9286CV-8e
  - LSI MegaRAID SAS 8110-4i
  - LSI MegaRAID SAS 9266-8i
  - LSI MegaRAID SAS 9271CV-8i
  - LSI MegaRAID SAS 9285CV-8e
  - LSI MegaRAID SAS 9361□8i
  - LSI MegaRAID SAS 9300-8i
  - LSI MegaRAID SAS 9300-8E

- ハード ディスク ドライブ
  - ST9146853SS
  - ST9300653SS
  - ST300MM0006
  - ST600MM0006
  - ST900MM0006
  - ST9500620SS
  - ST91000640SS
  - MZ6ER200HAGM
  - MZ6ER400HAGL
  - MZ6ER800HAGL
  - ST1000NM0001

- ST2000NM0001
- ST500NM0011
- AL13SEB300
- AL13SEB600
- AL13SEB900
- ST9300605SS
- ST9600205SS
- ST9900805SS
- MK1001TRKB
- MK2001TRKB
- ST33000650SS
- ST3600057SS
- ST9146803SS
- ST9300603SS
- ST9500530NS
- MTFDDAK100MAR
- MTFDDAK400MAR

• Fusion-io

- Fusion-io ioDrive2 1205G
- Fusion-io ioDrive2 3000G
- Fusion-io ioDrive2 365G
- Fusion-io ioDrive2 785G
- Fusion-io ioDrive3 1000G
- Fusion-io ioDrive3 1300G
- Fusion-io ioDrive3 2600G
- Fusion-io ioDrive3 3200G
- Fusion-io ioDrive3 5200G
- Fusion-io ioDrive3 6400G

• Nvidia

- Nvidia GRID K1
- Nvidia TESLA K10
- Nvidia GRID K2
- Nvidia TESLA K20m

- Nvidia TESLA K20xm
- Nvidia GRID K40m

（注）
- これは、さまざまなサーバでサポートされるすべてのコンポーネントの一覧です。 特定のサーバのファームウェアをアップグレードする場合、HUU では、そのサーバでサポートされているコンポーネントだけが検出され、表示されます。

さまざまなサーバでサポートされるコンポーネントの最新情報については、『Release Notes for Cisco UCS C-Series Software』を参照してください。

非インタラクティブ HUU を使用する C シリーズ サーバのファームウェアのアップグレードについては、『*Cisco UCS Rack-Mount Servers Cisco IMC XML API Programmer Guide*』を参照してください。

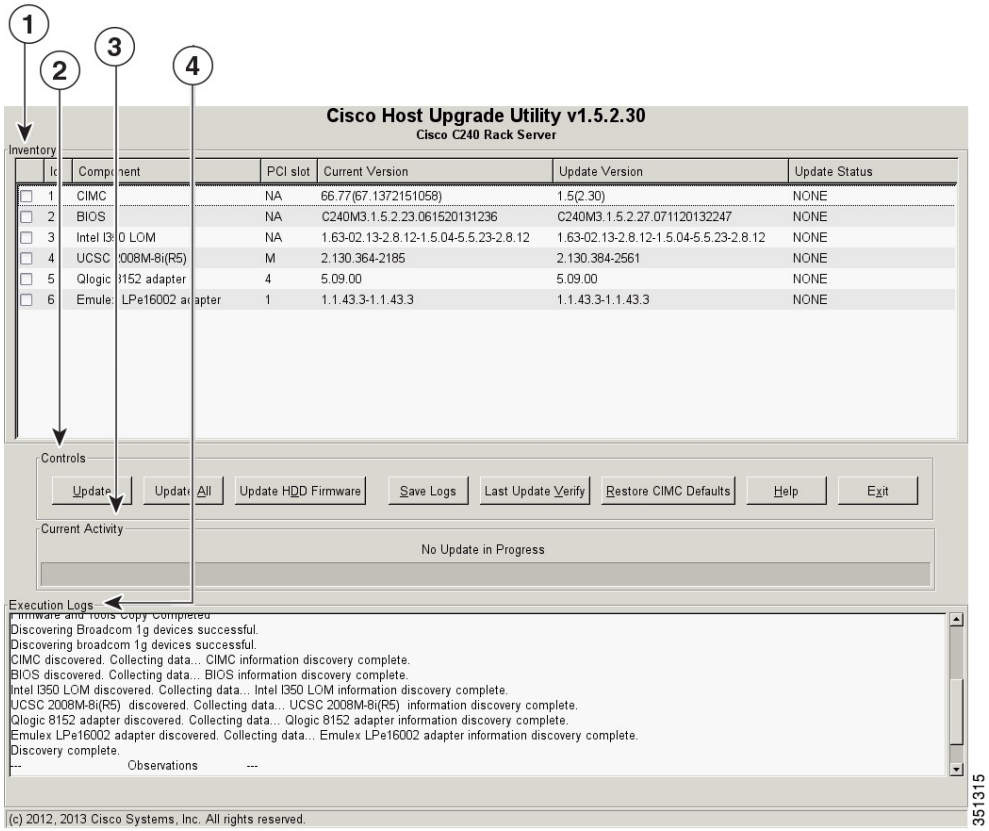
# ライセンス契約書

HUUのブート後に最初に表示されるインターフェイスは、エンドユーザ ライセンス契約書です。[I Agree] を選択してこのライセンスに同意します。

# HUU ユーザ インターフェイスについて

ここでは、HUU ユーザ インターフェイスのさまざまなセクションの UI 要素について簡単に説明します。

**図 *1*：*HUU* ユーザ インターフェイス**




| UI 要素 | 説明 |
|---|---|
| [Inventory]1. セクション | |
| Id | コンポーネントの行番号が表示されます。 |
| コンポーネント | サーバのコンポーネントのリストが表示されます。 |
| PCI Slot | PCI アダプタ コンポーネントの PCI スロット情報が表示されます。 |
| 現在のバージョン | リストされたコンポーネントごとに、そのファームウェアの現在のバージョンが表示されます。 |

| UI 要素 | 説明 |
|---|---|
| Update Version | アップグレードに利用可能なファームウェアのバージョンが表示されます。 |
| Update Status | 更新の進行中に、リストの各要素の更新のステータスが表示されます。 |
| [Controls]2. セクション | |
| アップデート | このボタンを使用すると、選択したコンポーネントのファームウェアの更新が開始されます。 |
| Update All | このボタンを使用すると、サーバのすべてのコンポーネントのファームウェアの更新が開始されます。 |
| Update HDD Firmware | このボタンを使用すると、新しいファームウェアをサポートする特定のハード ドライブのファームウェアの更新が開始されます。 |
| Save Logs | このボタンを使用すると、更新の詳細なステータスを含むログ ファイルが、サーバに物理的またはKVM vMedia経由で接続されている外部 USB デバイスに保存されます。 更新中にエラーが発生すると、ログを保存するよう求められます。 [Save Logs] 機能は、トラブルシューティングに役立ちます。 |
| Last Update Verify | このボタンを使用すると、各コンポーネントで、以前HUU を使用して更新されたファームウェアのバージョンと、コンポーネントのファームウェアの現在のバージョンが比較されます。 |
| Restore CIMC Defaults | このボタンを使用すると、CIMC の設定が出荷時の初期状態に復元されます。 |
| 3. [Current Activity] セクション | このセクションでは、更新のステータスが表示されます。 |
| 4. 実行ログ セクション | このセクションでは、更新の進行中に、さまざまなアクティビティやステータスの詳細なログが表示されます。 |

第 2 章

# 要件およびサポート

この章は、次の内容で構成されています。


- 要件，9 ページ
- サポート，11 ページ


## 要件

**重要** 各サーバ プラットフォームに対して個別の ISO コンテナがリリースされます。 サーバに適切な ISO コンテナをダウンロードする必要があります。

**（注）** 2.0(x) から 1.5.4 以前のバージョンにダウングレードする場合は、まず 1.5.4 にダウングレードして、それから目的のバージョンにダウングレードする必要があります。

| Server | コンテナ | Cisco IMC および BIOS バージョンの最小要件 |
|---|---|---|
| C22 | 2.0.1b | Cisco IMC バージョン：2.0(1b)<br>BIOS バージョン：2.0.1b.0 |
| C24 | 2.0.1b | Cisco IMC バージョン：2.0(1b)<br>BIOS バージョン：2.0.1b.0 |

| Server | コンテナ | Cisco IMC および BIOS バージョンの最小要件 |
|---|---|---|
| C220 | 2.0.1b | Intel Xeon(C) 26XX シリーズまたは Intel Xeon(C) 24XX シリーズプロセッサ搭載の CPU の場合<br>Cisco IMC バージョン：2.0(1b)<br>BIOS バージョン：2.0.1b.0<br>Intel Xeon(C) 26XX V2 シリーズ プロセッサ搭載の CPU の場合<br>Cisco IMC バージョン：2.0(1b)<br>BIOS バージョン：2.0.1b.0 |
| C240 | 2.0.1b | Intel Xeon(C) 26XX シリーズまたは Intel Xeon(C) 24XX シリーズプロセッサ搭載の CPU の場合<br>Cisco IMC バージョン：2.0(1b)<br>BIOS バージョン：2.0.1b.0<br>Intel Xeon(C) 26XX V2 シリーズ プロセッサ搭載の CPU の場合<br>Cisco IMC バージョン：2.0(1b)<br>BIOS バージョン：2.0.1b.0 |
| C3160 | 2.0.2c | Cisco IMC バージョン：2.0(2c)<br>BIOS バージョン：2.0.2a.0<br>シャーシ管理コントローラ（CMC）バージョン：2.0(2b) |
| C220 M4 | 2.0.3d | Cisco IMC バージョン：2.0(3d)<br>BIOS バージョン：2.0.3.0 |
| C240 M4 | 2.0.3d | Cisco IMC バージョン：2.0(3d)<br>BIOS バージョン：2.0.3.0 |
| C460 M4 | 1.5.7e | Cisco IMC バージョン：1.5(7e)<br>BIOS バージョン：1.5.7a.0 |

# サポート

Cisco Host Upgrade Utility は、Cisco UCS C シリーズ サーバ上の LOM および LSI コントローラ デバイスのファームウェアをチェックし、更新します。 サポートされているサーバ上でサポートされる LOM および LSI コントローラ デバイスの完全なリストについては、次の場所で入手可能な『*Release Notes for Cisco UCS C-Series Software*』を参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps10739/prod_release_notes_list.html

第 3 章

# Cisco UCS C シリーズ サーバのファームウェアの更新

この章では、次の事項について説明します。


- HUU を使用した Cisco UCS C シリーズ サーバのファームウェアの更新，13 ページ


# HUU を使用した Cisco UCS C シリーズ サーバのファームウェアの更新

HUU ISO を使用して、書き込み可能なディスク（DVD または CD）によりホストからローカルでサーバのコンポーネントをアップグレードしたり、HUU ISO を仮想デバイスとしてマウントすることによりリモートでサーバのコンポーネントをアップグレードしたりできます。 この手順では、HUU を使用してファームウェアをアップグレードする方法について説明します。

**ステップ 1** HUU ISO ファイルをダウンロードします。

a) http://www.cisco.com/cisco/software/navigator.html にアクセスします。
b) 中央のカラムで、[Servers – Unified Computing] をクリックします。
c) 右側のカラムで、[Cisco UCS C-Series Rack-Mount Standalone Server Software] をクリックします。
d) 右側のカラムでサーバのモデル名を選択します。
e) [Unified Computing System (UCS)Server Firmware] をクリックします。
f) リリース番号を選択します。
g) [Download Now] をクリックして `ucs-server platform-huu-version_number.iso` ファイルをダウンロードします。
h) 次のページで情報を確認後、[Proceed With Download] をクリックします。

i) 次の画面に進んでライセンス契約に同意し、このファイルを保存する場所を参照します。

**ステップ 2** ローカル アップグレード用に ISO を準備する場合は、このステップを完了するか、ステップ 3 に進みます。

a) 書き込み可能なディスク（CD）に ISO イメージを書き込みます。
b) VGA モニタと USB キーボードを Cisco C シリーズ サーバに接続します。
c) ディスクを Cisco C シリーズ サーバの USB DVD ドライブに挿入します。
d) ステップ 4 に進みます。

**ステップ 3** **KVM コンソール**を使用してリモート アップグレードのために ISO を準備します。

a) ブラウザを使用して、アップグレードするサーバ上の Cisco IMC GUI ソフトウェアに接続します。
b) ブラウザのアドレス フィールドにサーバの Cisco IMC IP アドレスを入力し、次にユーザ名とパスワードを入力します。
c) ツールバー上の [Launch KVM Console] をクリックして、**KVM コンソール** を起動します。
d) **KVM コンソール**で、[Virtual Media] をクリックします。
e) [Add Image] をクリックし、`ucs-server-name-huu-version_number.iso` file をクリックします。
f) [Client View] 領域の [Mapped] カラムで、追加する ISO ファイルのチェックボックスをオンにし、マッピングが完了するまで待機します。
g) ISO ファイルがマップ済みリモート デバイスとして現れたら、ステップ 4 に進みます。

**ステップ 4** サーバを起動し、[Boot Menu] 画面を開くよう求められたら、F6 を押します。

**ステップ 5** [Boot Menu] 画面で、準備された ISO を選択します。

- ローカル アップグレードの場合は、物理または外部接続された CD/DVD デバイスを選択してから、Enter を押します。
- リモート アップグレードの場合は、[Cisco vKVM-Mapped vDVD1.22] を選択し、Enter を押します。

選択したデバイスからサーバがブートします。

**ステップ 6** HUU をブートすると、Cisco End User License Agreement（EULA）が表示されるので、EULA を読み、

- [I Agree] をクリックしてライセンス契約書に同意し、更新を進めます。
- キャンセルする場合は [I Disagree] をクリックします。

EULA に同意すると、[Cisco Host Upgrade Utility] ウィンドウが表示され、更新が利用可能なすべてのコンポーネントのリストが表示されます。

**ステップ 7** リストされたすべてのコンポーネントを更新する場合は、[Update all] をクリックします。

（注）
- バージョン 1.5(1l) 以前から、またはバージョン 1.5.3 から 2.0 (x) に更新する場合は、Cisco IMC のアクティブなバージョンとバックアップ バージョンの両方が 2.0(x) に更新されます。
- 更新中に KVM 接続が切断されるため、更新の進行状況を表示するには再接続する必要があります。

**ステップ 8** リストの特定のコンポーネントを更新する場合は、更新するコンポーネントを選択します。

**ステップ 9** [Update] をクリックします。

（注）
- あるコンポーネントのファームウェアを特に更新する場合を除き、[Update all] オプションを使用してすべてのコンポーネントのファームウェアを更新することを推奨します。
- 3 つのコンポーネント（BIOS、Cisco IMC、または CMC）のいずれかのファームウェアを更新する場合は、他の 2 つのコンポーネントのファームウェアも更新することをお勧めします。
- Cisco IMC ファームウェアを更新する場合は、[Exit] をクリックしてから [Ok] をクリックして Cisco IMC ファームウェアをアクティブにします。
- Cisco IMC と他のコンポーネントを一緒に更新することを選択し、BIOS を選択していない場合は、終了時に**シャーシ ファームウェア**を更新するよう求めるプロンプトが表示されるので、確認ダイアログボックスで [Yes] をクリックしてシャーシ ファームウェアを更新します。

これにより更新が開始され、更新のステータスが、[Update Status] カラムに表示されます。 また、ファームウェアの更新中は、[Execution Logs] セクションに、関連する一連のアクティビティとステータスの詳細なログが表示されます。

**ステップ 10** サーバのハードディスクのファームウェアを更新する場合は、[Update HDD Firmware] をクリックします。 ウィンドウに新しいファームウェアをサポートするサーバのハードディスク ドライブのリストが表示されます。 ファームウェアのアップグレードをサポートしていないハードディスク ドライブは表示されません。

**重要** ハードディスク ドライブのファームウェアを更新すると、データ損失が発生する可能性があります。 ファームウェアを更新する前に完全なシステム バックアップを作成することをお勧めします。

a) すべてのハード ディスクのファームウェアを更新するには、[Update All] をクリックします。
このオプションでは、最新のファームウェアがインストールされた HDD は更新されません。

b) 特定の HDD を更新するには、HDD を選択し、[Update] をクリックします。

**ステップ 11** サーバをリブートします。

**ステップ 12** サーバをリブートして、[Last Update Verify] をクリックし、更新が正常に完了したかどうかを確認します。 このアクションは、各コンポーネントで、以前 HUU を使用して更新されたファームウェアのバージョンと、コンポーネントのファームウェアの現在のバージョンを比較し、更新のステータスを表示します。

**ステップ 13** 更新ステータスのログ ファイルを後で使用できるように保存する場合は、[Save Logs] をクリックします。 更新の詳細なステータスを含むログ ファイルは、サーバに物理的または KVM vMedia 経由で接続されている外部 USB デバイスに保存されます。

（注） ファームウェアの更新中にエラーが発生すると、エラー ログを保存するよう求められます。 接続された外部 USB にログを保存する場合は、[Save Logs] をクリックします。 このログは、エラーの原因の特定とトラブルシューティングに使用できます。

**ステップ 14** HUU を終了する場合は、[Exit] をクリックします。

（注）
- Cisco IMC を更新し、BIOS を更新していない場合は、[Exit] をクリックすると Cisco IMC がアクティブになり、Cisco IMC と KVM への接続が切断されます。
- 更新用に LOM を選択しており、Shared LOM モードである場合は、[Exit] をクリックすると Cisco IMC と KVM への接続が切断されます。

第 4 章

# トラブルシューティング

この章は、次の内容で構成されています。


- トラブルシューティング，17 ページ


## トラブルシューティング

次の表に、発生する可能性がある問題をトラブルシューティングする際の推奨事項を示します。

| 問題 | 推奨されるソリューション |
|---|---|
| 更新して再起動した後に Cisco IMC への接続は失われ、KVM セッションが終了します。 | これは、ファームウェア更新後の期待される動作です。 Cisco IMC に再びログインし、KVM セッションを再び確立します。 |
| 次のエラー メッセージが表示されます。<br>`PID, Board Part Number, Product Part Number <PID, Board Part Number, Product Part Number> is not supported by this HUU image. HUU will not boot on this machine. Press any key to reboot the server.` | このエラー メッセージは、HUU ISO がサーバでサポートされていない場合に表示されます。サーバでサポートされた HUU ISO を使用します。 |

トラブルシューティング